

# 平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年 2月12日

上場会社名 セーレン株式会社 (コード番号: 3569 東証・大証第1部)  
 (URL <http://www.seiren.com/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役社長 川田 達男 (TEL:(0776)35-2111)  
 責任者役職・氏名 総務部長 多嘉 博

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

## 2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

### (1) 売上高

(注) 記載金額は百万円未満切捨

	百万円	%
16年3月期第3四半期	52,823	( - )
15年3月期第3四半期	-	( - )
(参考)15年3月期	63,104	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

(注) 当期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年第3四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

### [ 売上高に関する補足説明 ]

当第3四半期までの国内経済は輸出や設備投資の増加により回復基調で推移したものの、デフレ経済の下、依然として所得・雇用環境は厳しい状態が続きました。

こうした厳しい環境の中、当社の主要商品である自動車内装材については一貫加工体制によるシェアの拡大や、海外子会社の本格稼働に伴い、売上高が大きく伸びました。また、エレクトロニクス分野における電磁波シールド材「プラット<sup>®</sup>」はパソコン市場の回復や、旺盛なPDP需要に支えられ高い伸び率で推移いたしました。

### (参考) セグメント別売上高

	平成16年3月期 第3四半期	平成15年3月期 第3四半期	(参考) 平成15年3月期
	百万円	百万円	百万円
オートモーティブ	24,734	-	27,386
ハイファッション	16,733	-	21,957
エレクトロニクス	4,276	-	5,069
ハウジング	6,209	-	7,499
メディカル	572	-	667
その他	297	-	524
計	52,823	-	63,104

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

(注) 当期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年第3四半期の実績については記載しておりません。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当となる事象は発生していません。

3. 平成16年3月期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回業績見通し(A) (平成15年11月10日発表)	68,000	3,800	3,700	1,100
今回業績見通し(B) (平成16年2月12日発表)	68,000	3,900	3,700	1,100
増減額(B-A)	-	100	-	-
増減率(%)	-	2.6	-	-
前期実績(C) (平成15年3月期通期)	63,104	2,394	2,101	865
増減額(B-C)	4,895	1,505	1,599	1,966
増減率(%)	7.8	62.9	76.1	-

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円 59銭

(2) 単独業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回業績見通し(A) (平成15年11月10日発表)	60,000	3,300	3,350	1,100
今回業績見通し(B) (平成16年2月12日発表)	60,000	3,300	3,350	1,100
増減額(B-A)	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-
前期実績(C) (平成15年3月期通期)	57,853	2,675	2,870	226
増減額(B-C)	2,147	624	480	873
増減率(%)	3.7	23.3	16.7	385.3

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円 57銭

[業績予想に関する定性的情報等]

実質GDPが上方修正となり、先行きに期待のできる経済環境となりましたが、依然デフレ経済は続いており、設備投資や個人消費・住宅投資は依然低調、雇用環境も厳しい状況が続くものと想定されます。

このような環境の中、好調に推移しておりますエレクトロニクス分野の売上高の伸びを中心に、海外における自動車内装材事業の順調な拡大と併せ、前年に対し大幅な増収増益を見込んでおります。

なお、これまでの企業改革が成果を上げることができ、今期に引続き翌期以降も高い業績が予想されます。これまでの株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、当初予定しておりました期末配当金2円50銭を5円に増額し、すでに実施しております中間配当金2円50銭と併せて、年間で1株につき7円50銭とする修正を行っております。

以上